

CONTENTS

- 大学院・各学部卒業研究紹介(4面)
- 15年度入試~大学・短大前年比アップ(6面)
- 松田教授ら合同調査隊、チンギス・ハン兵站基地発見!(8面)

「情報社会の信頼性」
 大阪国際学園 理事長 奥田吾朗

イラクをめぐる戦争も、アメリカによってひとまず終結宣言が出され、戦後復興に焦点が移りつつある。一方、アジアでは、新型肺炎(SARS)が猛威をふるっている。日進月歩でグローバル化が進んでいる現代社会では、たとえ外国や他の地域における出来事であっても、我々の日常生活に及ぼす影響が、直接かつ即座に、何がしかの影響を及ぼす時代となった。

このようなときには、これまで以上に「情報」の役割が一層重要なものとなる。高度情報社会の現在では、テレビ、新聞、雑誌のみならず、インターネットや衛星放送等の多種多様なメディアを通じて、大量の「情報」をスピーディーかつ容易に入手することができるようになった。先のイラクでの戦争に例を採ると、我々は自宅に居ながらにして、CNNなどのニュース番組のなかでアメリカ軍の戦闘シーンを目の当たりにすることができた。

ところで、文章や写真だけでなく、たとえライブと称される映像であったとしても、そこには情報を発信するサイドの何らかの意図が存在していることも忘れてはならない。人類は、今後さらに技術が発達させ、「情報」の氾濫する社会をつくりあげることになろう。そこでは、アカウンティビリティの重要性が叫ばれると同時に、「情報」の真実性あるいは情報社会そのものの信頼性について、再度考へるべき点は多いように思われてならない。

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/学)大阪国際学園広報室
 〒570-8555守口市藤田町6-2 1-57
 ☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
 Eメールkoho@oiu.ac.jp
 http://www.globalmind.jp/

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 枚方キャンパス072(858)1616(代) 守口キャンパス06(6902)0791(代)	大阪国際滝井高等学校(OITH) 06(6996)5691(代)
大阪国際女子大学(OIUW) 06(6902)0791(代)	大阪国際和田高等学校(OIOH)・中学校(OIOJ) 06(6904)1118(代)
大阪国際大学短期大学部(OIC) 06(6902)0791(代)	大阪国際大和田幼稚園(OIOK) 06(6902)7329(代)

大学改革実行の年

IT、起業・事業創造、中国語、法律特別4集中特訓コース加わる 自己開発のエンカレッジ・キャリア教育特別講座も



奥田吾朗 校長

滝井高校長に奥田吾朗理事長

平成14年度が大学改革始動の年ならば、15年度は「中身を盛り込む改革実行の年」と金子敦郎国際大学長が年頭に語ったように、新年度、国際大では新たな試みが続々スタートしている。14年度から実施している「ジョーシタウ」大学英語インテンシブコース、「ジャーナリスト特訓講座(日本語表現応用演習)」に加え、経営情報学部で「ITインテンシブコース」「起業・事業創造コース」、法政経学部で「法律特別コース」、全学部共通の「中国語インテンシブコース」が設けられ、計6つの集中特訓コースを整備。また、エンカレッジ・キャリア教育特別講座「モスタート」も、資格取得講座や就職講座とは一線を画した低年次からの徹底した教育プログラムで、学生が卒業後の進路も視野に入れ、目的意識を持って大学生活を送れるように、新生・国際大の教育に対する情熱を形にしたもの。新入生を迎え、いよいよ本格的な大学改革の実行となる。

「ITインテンシブコース」は、実務的ITと経営情報学部の最先端の研究を融合、選抜された23名が密度の高い授業を受けている。毎日英語漬けの「ジョーシタウ」大学英語インテンシブコースとは違い、基礎教養や学部教育も受講しながら毎日講義と実習の合計2コマ、IT関連授業を受ける。1年次の前期で通常2年間かけて学ぶコンピュータ関係の授業をみっちり受け、基礎的なIT技術をマスター。そして1年次後期から応用に入る。3年次生からは経営工学、人工知能論、ビジネスシミュレーションなどの専門科目を学部の経営関連科目とともに学ぶことができ、インターネットビジネスなど新たなビジネスモデルの構築を目指し系統立てて学ぶことのできるプログラムになっている。資格取得を目的としたコースではないが、成果の確認として基本情報技術者試験やシステムアドミニストラータ試験などの受験を奨励。これらの資格はもちろん、パソコン検定、CG検定などの受験についてもサポート体制を整えている。情報系大学生は卒業後、IT技術において専門学校生にならなわなこともありがちだが、集中的にIT技術を身につけ、しかも経営情報の専門科目に発展させることで、実社会でコンピュータ利用技術を切り札として使うことを目指している。



いよいよスタートした「ITインテンシブコース」の様子。写真は「情報数学」の授業風景

新生・国際大の情熱を表出

その基礎的能力の向上を図ることを目標としている。起業家養成講座は他の大学でも開設が相次いでいるが、1年次に「お金の流れ」と「ビジネスの進め方」を身につけるなど、低年次からビジネスに不可欠な基礎を集中的に学べるのが本学の大きな特徴となっている。また、2年次の大きな知識だけでなく、海外事情研修を核とし、先端企業や経営者、ビジネスマンに触れる機会を設け、「自分もあんな風になりたい」という具体的な動機付けを行う仕組みを提供する。そして3年次生では「起業分野」「会計分野」「サービスマネジメント」の3つのコースをそれぞれ選択し、それぞれのビジネス経験のある教員も含めての指導により専門知識を身につけながら関連企業との交流を深め、4年次の就職活動に繋げていく。

滝井高校の福井昭典前校長が3月31日付で辞任、今年3月20日の理事会において、新任の校長として奥田吾朗理事長、短大校長が選任された。任期は15年4月1日から2年間。

「起業・事業創造インテンシブコース」は、将来起業する、あるいは企業内部で自ら事業を構想しその実現に向けて強い意志とリーダーシップを発揮して行動できる人材を育成し、

「中国語インテンシブコース」は、中国語圏に対応できる国際派ビジネスの養成を目指したもので、語学系以外の大学では全国で初めての本格的なコースとなる。近年の中国の経済・文化面の目ざましい発展に伴い、日本の留学生数も増加し日中関係が一層緊密化する中、中国語や中国経済、文化、社会等に関する教育の重要性は大きい。15年秋からの開講で、4月からは「準備コース」を実施。週2コマの中国語の授業を枚方キャンパス11名、守口キャンパス15名が受講している。秋からの内容は、1、2年次で午前中に集中して1コマ50分の中国語授業を週12コマ受け、ヒアリングと会話に重点を置いた総合的なコミュニケーション能力を身につける。講師は協定校である中国の瀋陽東北大学から派遣される。そして2年次後期から1年間、履修者のうち特に成績優秀な希望者は中国語圏の協定校の交換留学が可能となる。瀋陽東北大学、四川大学(中国)や台湾の中国文化大学、香港中文大学などが候補地だ。これらで交換留学の体験が転機となり活躍している卒業生が少なくないが、同コースでの留学も自分を見つめ、力を伸ばす大きなチャンスとなるに違いない。留学を終えるとネイティブスピーカーによる経済、政治、比較文化、経営などさらに高度な専門教育を行い、中

のビジネスマンをゲストに迎えて講義。「情報創造力実習」では新たな情報を生み出す能力を身につけるためベンチャー企業やモノづくりの現場を視察するなど、生きた学びの機会を用意している。販売士や簿記、基本情報技術者などの公的資格取得のための講義も開講している。

新生入生に対して行った説明会では、学生からの積極的な質問が相次ぎ、興味と潜在的な要望の高さが伺われた。1期生は49名の応募者から選考された33名で、うち女性が7名。留学生も10名受講し、帰国後起業したいという留学生もおり大きな期待と人気を集めている。

「法律特別コース」が開設された。公務員、司法書士、行政書士や大学院進学などの目標をかかげる熱意ある学生を選抜し、少人数教育を実施する。特に公務員対策は学生からの需要も多く、法学、政治学、経済学を基盤とした豊富な授業を用意できる同学部ならではの特別コース。1年次後期から4年次まで一貫したプログラムで、1年次は「動機付け」に中心を置き、2年次は教養基礎・専門基礎を確立することを旨とする。その上で、3年次は専門基礎と専門応用、そして4年次は直前対策、という構成で新たな科目が組み込まれている。従来から目標を同じくする学生の学習サポートが主であり、同学部 奥 正嗣教授が自主的に世話人となってきたが、正規のコースとするので、教員のサポートや環境整備をさらに充実させ、やる気のある学生の潜在能力を伸ばすことを狙う。既に2年次生についてはこの4月から選考を経た学生が授業を受けており、「人の役に立ってやりがいのある仕事である公務員になりたい」「初心に戻って何のために大学に来たのかを考えた時、もっと勉強せねばと思った」と意欲を見せている。1年次生に対しては、7月初めに募集を開始する予定である。



学生も活発に意見を述べる起業・事業創造インテンシブコースの「ビジネスの進め方」

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

「エンカレッジ・キャリア教育特別講座」は、大学低年次から将来の生き方を見据えた自己開発を行うことで、21世紀を生き抜く力を持つ市民を育てることを目的として「大学で何を学ぶのか」と「将来何をを目指すのか」という「生きる目的」意識を育てる教育プログラム(エンカレッジ教育)を大学の1、2年次に取り入れることにより、その後の大学生活をより有意義に目的意識を持って過ごすことと共に、従来3年次生から主に行ってきた就職教育(キャリア教育)と連続性を持たせ、社会に貢献できる市民を育てるといふ大学の使命を果たす。各学部の教員と14年度開設のエンカレッジセンター、及び進路・就職部が協力し、単なる「就職講座」ではない、本学のキャリアアコンセプターを踏まえたプロの講師陣を揃え、1、2年次生を対象に前期後期各2コマを各学部の基礎・予備演習、セミナーに組み込む形で講座をスタートさせた。4月に行われた講座では、1年次生には、受身から決別し、自ら学ぶことの楽しさを理解するためのきっかけとなる内容、2年次生に対しては、1年次の振り返りや今後の大学生活を充実させて就職活動に繋げるための考え方を身につける内容で特別講座を実施した。

希望、胸に1959人集立つ

晴れの卒業式



「夢が咲く木」を歌って幕を閉じた短大卒業式

別れの季節を迎えた学園各々は2月から3月にかけて卒業式を行った。卒業生は大学から幼稚園まで計1959名。実社会や上級学校へ希望に胸をふくらませながら巣立っていった。

各校の卒業生は、国際大・校方キャンパスが大学院経営情報学研究所博士課程2名・修士課程6名、大学院総合社会科学研究所修士課程9名、経営情報学

部285名、政経学部199名、計501名。守口キャンパスが女子人間科学部405名(社会コミュニケーション学112名、国際コミュニケーション学123名、人間健康科学科80名、スポーツ行動学90名)。短大が家政科160名(生活文化コース118名、栄養士コース42名)、幼児教育科178名(保育コース133名、音楽コース22名、体育コース23名)、国際文化学199名(国際ビジネスコース25名、情報ビジネスコース85名、英語コミュニケーションコース29名、観光ビジネスコース60名)の計537名。

滝井高校214名、大和田高校227名、大和田中学校42名、幼稚園は計75名が修了した。

国際大の卒業証書・学位記授与式は3月25日校方キャンパス大講義室で行われた。金子敦郎学長が各学科・専攻の代表者に卒業証書・学位記を授与し、「厳しい時代、逆境に耐え抜く必要がある意味大きなチャンスにつながる。本学で学んだことに誇りをもち、自分をさらに高め、社会に貢献する人に育って欲しい」と卒業生たちを激励した。

続いて卒業生を代表して経営情報学部は陳 皎さんが、政経学部は辻 祥江さんが、大学生生活を共にした友人に、「この大学に感謝します」と心のこもった答辞を涙を浮かべつつ述べた。

このあと両学部卒業生から卒業記念品としてテント5はりや贈られ、学歌「新鮮な旅人」を斉唱して閉式した。式直前まで雨模様で天候も門出を祝うかのように上がり、大講義室前では花束を抱えた後輩達が出迎えた。また、18時からは大阪ヒルトンホテルで学友会主催卒業記念パーティーが行われ、学生・教職員一同で盛り上がり、終了後も卒業生達は会場を離れず別れを惜しんでいた。

女子大の卒業式は3月13日守口キャンパスの奥田メモリアルホールで行われた。金子学長は式辞で、世界情勢に触れて「従来から女性の方が強く戦争や差別に反対してきており、今まさに、日本も世界も女性の活躍を必要としている。女子大の卒業生という誇りをもって、企業、地域、家庭で役立つ人間になってほしい」とエールをおくった。

「卒業生のことば」として代表の社会コミュニケーション学の上坂佐世子さんが、大学生活の思い出と社会に出る決意を述べた。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が、「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

びかけ、35周年事業の準備を進めていることも紹介した。

短大の卒業証書授与式は3月14日に奥田メモリアルホールで行われた。奥田吾朗学長は式辞で、「人との出会いの中で多くのエピソードを経験することは、人間の成長にとって単なる知識やスキル以上の習得よりも大切。多くを経験し、人々にエネルギーを分け与えて下さい」と語り、「卒業生のことば」として代表の幼児教育科 山崎裕理子さんが、「私たちはまだ小さな蕾ですが、卒業生として国際社会に活躍したい」と述べた。

同窓会である「羊帝会 廣谷康子会長が、社会人になった時に帝大女子短大の1期生として恥じぬよう付加価値をつける努力をした自らの思い出や、主婦としての生きざまを語り、大和女子大短期大学部という新しい名前での1期生のみなさんも笑顔で忘れず、困難を乗り越えてほしい」と激励した。

女子大・短大共、卒業記念品はエレベーター用の姿見3台を大和女子大に寄贈。恒例「学園生活の思い出」のスライド上映があり、入学時の学外オリエンテーションなど懐かしい写真や授業の様子、海外研修などの多くの行事の映像が流れ、学園生活を振り返った。最後に短大幼児教育科音楽コースのコーラス隊に合わせ、卒業生が全員で合唱した。

「夢が咲く木」を全員で合唱し閉式、卒業生らはかけがえのない思い出を胸に新たな道への一歩を踏み出した。

両日とも晴天に恵まれグラウンドで学科ごとに記念撮影。保護者や在学生たちが見守り、先輩に花束や色紙を渡そうとクラブの後輩たちも集まった。

滝井高校の卒業証書授与式は2月21日体育館で行われた。証書授与後、福井昭典校長は「自立した女性としてこれからの男女共生社会で貢献できる十分な基礎を築き上げて、卒業という日を迎えられるように。これから自ら学ぶ態度を保ちつつ新しい目標に向かって頑張ってください」と学校長として最後の挨拶を述べた。同窓会代表花束贈呈のあと、在校生代表の安川奈美さんが、思い出を語るとともに先輩達から学んだ多くの事を思い起し送辞とした。卒業生代表の池内真梨子さんは通い慣れた学校でのことを振り返りながら先生、両親、友達に感謝の思いを述べた。校歌斉唱のあと閉式。

大和田高校の卒業証書授与式は2月28日奥田メモリアルホールで行われた。学校長式辞では奥田三郎校長が「本校で身につけた『基礎・基本』、自信、友情がこれからの人生にきっと役立つと確信しています。魅力ある人を目指し更に一歩を踏み出して下さい」と期待と励ましの意を込めた。在校生代表の小幡桂子さんから言葉が贈られた後、卒業生代表の森下まゆみさんは「何かに興味をもち、熱中して下さい。この学校にはそれを見つめるチャンスは沢山あります。それをつかみ高校生活を誰のためでもなく自分のために大切にしてください」と数々の思い出が交差するのだから、涙があふれ声も途切れがちになった。

先生方が大好きです。皆と作った思い出を大切に選んだ道をしつかり歩いていきたい」と述べた。寂しさを秘めて期待の拍手で送りだす先生や保護者、在校生に見守られて卒業した。

大和田幼稚園でも、3月19日奥田メモリアルホールで保育修了証書授与式が行われた。

この日証書授与に使われた演壇は保護者から幼稚園に対して卒園記念品として贈られたもので、金色のスクリーンマークが入られた園児対応の低い作りになったもの。園児たちは一人ずつ証書を受け取る広い舞台の真ん中で歩き「大きく歩いた世界一のサッカー選手になりたいです」「お花やさんになりたいです」「パパのお嫁さんになりたいです」などとそれぞれの夢を堂々と発表。吉備千枝園長は式辞で「幼稚園で身につけたこと、一生懸命頑張ったことを思い出して、大輪の花を咲かせて下さい」と述べ、また大学の協力を得て平成13年度に英語教育とコンピュータ教育という新しい試みを始めたことに触れ、「心配もありましたが、今では美しい発音でABCの歌を歌い、マウスを自由自在に操っている姿を見ることが出来ます」と成果も語った。また、今回の修了児は長年続いた紺色の制服の最後の園児でもある。最後に参列から教わって、時間とタイミングを何よりも大切にされたそうだった。

刀匠は左手のカナテコで熱した鉄をはさみ、右手の小槌でコチンとたたき、鉄を打ち伸ばすのでなく、ここを打つと場所を

合い、違った点を打てば鉄は間違った延び方をします。三人が素早く一定の力で一点を打つ。これが集中力であり、何百年の後までも素晴らしい姿と切れ味を残す日本刀を生み出す母なのである。

当学園で勉学に励む皆さんは、まさにまっ赤に熱せられた鉄に例えられるタイミングである。

先生方の指導がコチンで、皆さんがトン、トン、カンと自らを集中して鍛えることで、後の長い人生を本田さんのように切り開いてゆく名刀を手にする事が出来るのである。ゆめ、ゆめ疑うなかれ!

第15回「グローバルマインド賞」決まる

静岡県立浜松北高校3年「小さな国際化」

平成14年度の高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」には、全国114校から1348編の作品が集まり前回より倍増の応募となった。団体賞である

学校賞には佳作2編を出した兵庫県の小林聖心女子学院高校が受賞した。

今回より新サブテーマ「環境について」を加えたが、傾向と

しては、入賞作品に見られるように、単なる留学見聞録から脱皮して体験や知識を自分の視点で受け止め理解している作品が目立った。入賞者は別表の通り。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が、「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

「卒業生のことば」として代表の社会コミュニケーション学の上坂佐世子さんが、大学生活の思い出と社会に出る決意を述べた。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が、「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が、「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

また、同窓会である「なでしこの会」山崎子会長が、「みなさんが母校や同窓会を身近に感じるのは何年も先だが、その時には同窓会に来て、一番輝いていた時にタイムスリップして楽しい時を過ごしてほしい」と呼びかけた。

第15回グローバルマインド賞 優秀論文審査結果

テーマ 「世界の中の日本と私」

グランプリ賞

「小さな国際化」
静岡県 県立浜松北高校3年
坪井 咲

準グランプリ賞

「異文化理解とは何か」
大阪府 府立生野高校3年
佐藤 実優

毎日新聞社賞

「本当の国際交流とは」
北海道 道立北海道室蘭清水丘高校3年
山田 育美

佳作(受付番号順)

「英語とどのように接するべきか。英語帝国主義を通して考える」
東京都 国立お茶の水女子大学附属高校2年
谷 瑞希

「真のグローバル化とは～精神的開国を求めて」

東京都 学習院女子高等学校1年
飯名 由梨

「日本人としてのこれからの私」

東京都 中村高校2年
細谷 由美

「真の国際人とは」

静岡県 県立浜松北高校3年
成原 里美

「ビー玉が灯した「真心」の火」

兵庫県 小林聖心女子学院高校2年
大野 真理子

「微笑み合う国を目指して」

兵庫県 小林聖心女子学院高校3年
吉川 茜

「スマイル」

香川県 県立三木高校1年
坂本 智代

学校賞

兵庫県 小林聖心女子学院高校

直言

最近、孫のお守で半世紀前に習った懐かしい小学唱歌に悲声を張り上げています。

3歳児の質問責めで気付いたのだが、50年前には日常生活の中で見聞き出来た物がたくさん姿を消している。

「森の水車」「村の船祭り」「村の鍛冶屋」……。

頭さん「村の鍛冶屋」……。

そう言えば、一代で世界のホンダを育てた本田宗一郎さんの父君も刀鍛冶だったそう。鉄は熱いうちにすかさず打たないと、少しくも狂えば大槌がぶつかり



株式会社エフエムエム
代表取締役社長 服部 満雄

指示する。そこをすかさず三人の弟子がトン、テン、カンと打つ。コチン、トン、テン、カンを一糸乱れず繰り返す。それこそ絶妙熟練のタイミングである。少しでも狂えば大槌がぶつかり

コチンで、皆さんがトン、テン、カンと自らを集中して鍛えることで、後の長い人生を本田さんのように切り開いてゆく名刀を手にする事が出来るのである。ゆめ、ゆめ疑うなかれ!



親子や友達同士で思い思いの形を作る園児たち

バンコク大学(タイ)



本学と着実に学生交流の実績を残すバンコク大学

ボランティアワークキャンプを実施 本学学生も村落で共同生活

の提携校となった。提携してか
らまだ日が浅いが、学生交流に
関しては、短期間に着実に
実績を残している。
バンコク大学からは、13年、
15年に各1名が留学生別科(13
年は大阪国際女子大学外国人特
別科目等履修生)に半期間在籍
している。留学生は日本滞在中
大学近辺にホームステイをし、
大学の講義とは違った角度から
日本文化などの理解を深める機
会も与えられている。
一方、本学からは、昨年度は
じめてバンコク大学が実施して
いる「ボランティアワークキャ
ンプ」に学生6名が同行参加。

最古の歴史と最大規模

レヅジ(英語による講義)に4
学部あり、社会学、自然科学、
人文学、および工学に特化した
プログラムを提供している。
本学がバンコク大学との学生
交流協定を締結したのは平成12
年のことであり(当時は大阪国
際女子大学)、日本では道都大学
関西外国語大学に続いて3番目
の提携校となった。

ミニユニーションがとれるよう
になった。
また、ミーティングではタイ
人学生が積極的な刺激を受け
た」と感想を述べており、有
意義な研修だったことがうかが
える。今年3月に予定していた
同キャンパスは、残念ながら英米
によるイラク攻撃のため出発を
取り止めるをえなかつたが、
大学をあげてボランティア活動
を推進していることもあり、今
後世界情勢が安定すれば、16年
3月に実施予定である。

なお、同協定により、本学学
生が英語で講義の行われるイン
ターナショナルカレッジ(半期
間、または1年間交換留学でき
る制度もあり、英語力に自信の
ある学生にはぜひこの制度を活
用してもらいたいものである
(インターナショナルカレッジ
の学部は、会計学部、経営学部
コミュニケーション学部、人文
学部)。
(大阪国際大学・大阪国際女子
大学・大阪国際大学短期大学部
国際交流課課長代理 小山さゆり)

ストリベロ賞)▽赤柳理恵(ス
ボ行3)▽小坂恵里(スボ行3)
▽太田梨恵(スボ行4)以上
(14年度大阪府学生バレーボ
ール選抜に選出され中国遠征(親善
交流)▽奥田祥子(スボ行4)
(14年度関西学生ソフトボ
ール秋季1部リーグベストプレ
イ賞)▽和田有加(スボ行4)
(14年度関西学生ソフトボ
ール秋季1部リーグ最優秀打撃賞)
▽山元 瞳(人健4)(14年度
大阪府学生バレーボール選抜に
選出され中国遠征に参加。西日
本大学5学連選抜対抗戦に関西
学連代表として出場。14年度春
季・秋季1部リーグ最優秀選手
賞。全日本学生選抜東西対抗戦
に選出され出場)▽上村祐子(人
健4)(14年度大阪府学生バレー

ボ
ール選抜に選出され中国遠征
西日本大学5学連選抜対抗戦に
関西学連代表として出場。14年
度全日本学生選抜東西対抗戦に
選出され出場)▽加藤みのり(人
健4)(14年度大阪府学生バレー
ボール選抜に選出され中国遠征
西日本大学5学連選抜対抗戦に
関西学連代表として出場。14年
度春季1部リーグセッター賞)
大阪国際大学短期大学部
七蔵司綾子(国文1)(第38回
関西女子学生選手権水泳競技大
会2部100m平泳ぎ優勝)▽
松村 歩(国文2)(14年度関
西学生ソフトボール春季・秋季
1部リーグ最優秀投手賞)▽
佐々木アリス(幼教2)(14年
度関西学生ソフトボール秋季1
部リーグ盗塁賞)▽佐々木 梓

(家政2)(03年度21歳以下女
子ラクロス日本代表候補選手に
選出)
【枚方キャンパス】
中島正詞(法政経1)(第76回
関西学生選手権水泳競技大会3
部200m自由形優勝、10
0m自由形2位入賞)▽川瀬友
樹(法政経3)(第76回関西学
生選手権水泳競技大会3部10
0m背泳ぎ優勝、200m背泳3
位入賞)▽杉本勝安経(経3)(第
2回日米大学軟式野球国際大会
全日本選抜チームに選出され米
遠征に参加)
資格取得による表彰(敬称略)
【守口キャンパス】
大阪国際大学・大阪国際女子大
学 岡崎朱里▽西尾恵永▽林 理香
(タイ出身)

第4回「大学関西フォーラム」開催 金子学長、パネリストで参加

3月7日、読売新聞大阪本社
主催の「大学関西フォーラム」
第4回懇話会が開催され、国際
大金子敦郎学長がパネリストと
して、大学改革について教室内
容や運営の方針、今後の課題な
どについて語った。フォーラム
はクラブ関西(大阪市北区)で
行われ、近畿などの国公私立大
学の学長や理事長ら約120名
が参加。

今回のテーマは「大学の新しい
個性づくり」とし、ノーベル
物理学賞受賞者・芝浦工業大学
学長で21世紀COEプログラム
委員会委員長でもある江崎玲於
奈氏を招き、「個性的な大学づく
り」と題した基調講演が行われ
た後、「大学の新しい可能性を

目指して」と題したパネルディ
スカッションが行われた。
パネリストには金子学長の他
に江崎氏、長尾 真京都大学総
長、長田豊臣立命館総長、下谷
昌久大阪工業会産業政策委員
長、オージス総研会長が参加、
変革の時代を迎えたそれぞれの
大学の熱い思いを語り、議論を
展開した。

目指して」と題したパネルディ
スカッションが行われた。
パネリストには金子学長の他
に江崎氏、長尾 真京都大学総
長、長田豊臣立命館総長、下谷
昌久大阪工業会産業政策委員
長、オージス総研会長が参加、
変革の時代を迎えたそれぞれの
大学の熱い思いを語り、議論を
展開した。

課外活動奨励者表彰
(敬称略) 大学・短大
【守口キャンパス】
国際大
ソフトボール部(14年度関西学
生ソフトボール秋季1部リーグ
優勝)▽女子水泳部(第38回関

賞。ユニバーシアード競技会選
抜女子チーム候補選手に選出)
▽糸田奈美(スボ行2)(03年
度21歳以下女子ラクロス日本代
表候補選手に選出)▽田村恵子
(人健2)▽西野和美(スボ行2)
▽平井夏海(スボ行2)▽谷口
敦子(スボ行4)以上(03年度
関西女子ラクロスユニース選抜選
手に選出)▽今西真理(スボ行
3)(第23回世界バトントワリ
ング選手権日本代表選手に認定
団体戦準優勝)▽富岡真子(人
健3)(02年少林寺拳法全国大
会一般女子2段の部優良賞(6
位)▽上田 玲(スボ行3)
(14年度関西学生ソフトボ
ール春季1部リーグベストプレイ
賞、ホームラン賞)▽戸田絵美
(スボ行3)(14年度大阪府学
生バレーボール選抜に選出され
中国遠征。西日本大学5学連選
抜対抗戦に関西学連代表として
出場。14年度春季1部リーグベ

▽池 香菜美▽米野智美▽林
菜穂子▽王 成麗▽黄 海(以
上国コミ3)▽藤本佳七子(人
健3)
大阪国際大学短期大学部
三元麻利▽北中優希(以上国文
1)▽岩元由貴▽西脇昌代▽松
田奈央子▽田中裕子▽水閣浩子
▽谷内仁美▽山本珠代▽梶原布
季▽毛笠美帆(以上国文2)
【枚方キャンパス】
寺田竹志(法政経1)▽池田礼
人▽中村太士▽竹田万亀夫▽富
田拓史▽橋本宗一郎(以上経情
2)▽大庭英樹(法政経2)▽
春尾妙子▽奥野裕子▽武一 愛
▽田中伸明▽東 啓司(以上経
情3)▽山本 尚(法政経3)
▽時本 肇▽松木孝仁▽村井和
志▽諏訪貴彦▽昇 葉子▽横須
裕介▽朴 恩恵(以上経情4)
▽武内靖之(政経4)

幼
稚
園
園
長
表
彰
(敬
称
略)
第
6
2
回
全
国
教
育
美
術
展
(平成15年2月5日)
入選者▽大南夏海▽杉谷拓己▽塚崎
純太(以上あやめ組)▽伊東展希▽
黒田風咲▽堀川由佳(以上ゆり組)
▽林 紗也子(すみれ組)▽濱田奈々
(ひまわり組)
第
3
9
回
全
大
阪
幼
少
年
美
術
展
(平成15年3月1日)
入選者▽乾 由乃▽開田健太郎▽田
弘龍太郎(以上すみれ組)▽川原弘
暉▽佐藤昇平▽谷本 京▽永井幸宗
(以上あやめ組)▽増本 輝(ゆり組)
▽佳作者▽岩本佳乃(ひまわり組)▽
赤楚浩基▽和田藍里(以上すみれ組)
▽努力賞▽安達侑紀▽久保美翔▽寺西
聡美▽林 大介▽松本美優(以上ひ
まわり組)▽梶原 聖▽川崎悠平▽
本田七海(以上すみれ組)▽哇原研
史▽大石 竜▽喜多彩友美▽藤重諒
多(以上あやめ組)▽加賀尾 僚▽
近藤一輝▽山本 真(以上ゆり組)
学級部門 指導努力賞11組37名
指導者 澤竹 恵
個人賞入選作品は前期3月26日か
ら3月30日と後期4月2日から6日
に分けてユース・アート・ギャラ
リー(於：北区天満橋)にて展示さ
れた。

留学・研修レポート

韓国文化理解の研修に参加

短大家政科 生活文化コース1回生 船田 倫代

初の家政科主催韓国食文化研修に参加しました。研修先は大韓民国の釜山にある東州大学という短期大学です。その内容は、調理実習を中心に韓国の伝統料理を学び、キムチ学や韓国の食文化の授業もありました。学外研修では、お寺の見学を通して韓国の文化と歴史を学びました。そして、土曜日と日曜日はホームステイでの、大変充実した時間を過ごしました。

出発する前には言葉の違いやホームステイなど不安も沢山ありましたが、東州大学の学生達との学外研修などで、すぐに交流が深まりました。心配していた言葉も、東州大学の学生が日本語をとて熱心に勉強していて、日常会話には不自由がありませんでした。ホームステイでは、御家族の方が心からの歓迎をしてくれました。海雲台というとてもきれいな海水浴場に連れて行ってくれたり大型ショッピングセンタールネシティにも一緒に行きました。そして、チマ・チョゴリも着せてもらいました。

調理実習など全ての先生方が、とてもユニークでそのため楽しい授業でした。この研修に参加し、異文化に触れて、普段考えなかった事を思考し、又体験して、私達にとって掛け替えない経験となりました。韓国で過ごした有意義な十五日間を大切に今後の糧にしたいと思います。

(2003年3月10日～24日、家政科韓国食文化研修で東州大学他へ
奥田政三基金により派遣)

経験積み 自分の会社作りたい

大阪国際大学大学院 経営情報学研究所 モーブラシット・スジャー

私は2002年4月に大阪国際大学経営情報学研究所に入学して、経営学を勉強しています。母国で文学部を卒業した私にとって、経営学は結構難しいです。

「なぜ経営を勉強しようと思ったのか」とよく聞かれますが、多分自営業の父を手伝ううちに少しずつ経営に興味をもっていたからです。

大学院は大学の授業と大きく違います。大学は先生が選んだテキストを使って読んでテストを受けて終わりますが、大学院の場合は自分で研究したり、さまざまな本を読んだりしなければなりません。今、私はセブンイレブンを通して、日本のコンビニエンスストアとタイのコンビニエンスストアについて研究しています。その理由は、現在、コンビニエンスストアは私たちの日常生活において欠くことのできない存在となっているからです。

しかし私の場合は、やはり日本語が一番の大きな問題です。全てのテキストは基本的に日本語で書かれているし、特に漢字が大変難しく、漢字がないタイ語を使う私は、他の人より二倍頑張らなければなりません。分からない時には先生や友達が教えてくれるので大変感謝しています。

大学院修了後、タイで仕事をしたいと考えています。自分の会社を作りたいという夢がありますが、経験はまだ足りないので、すぐできるわけではありません。まず国際貿易会社や日系企業などで働いて充分経験を積んで、チャンスがあれば、自分の会社を作りたいと考えています。

(タイ出身)



(タイ出身)

研鑽・努力の成果発表

14年度 大学院・大学各学部の卒業研究

大学生活の集大成とも言える卒業研究が14年度も大学院各研究科、大学各学部学科で提出された。発表会は国際人間情報系が2月21日に、女子大人間情報学部人間健康科学科・社会コミュニケーション・国際コミュニケーション学が2月6日に、同学部国際コミュニケーション学・スポーツ行動学が7日にそれぞれ行われ、この日のために準備を重ねてきた学生らは映像を駆使しながら堂々と成果を発表した。数多い力作の中から各学科の優秀作を紹介する。

大学院経営情報学研究所修士課程 西本正博(指導教員 古殿幸雄)

「気象データを用いた需要予測ファジィ推論モデルの構築に関する研究」



「実は勉強はあまり好きではなかった」という西本さん。だが「データを扱い予測を立てることは好きで、特にファジィ理論と出会ってからの面白さにはまりました。」学部時代からの担当の古殿助教授のすすめもありこのテーマを選び、人間の消費行動と気温や湿度等の気象データとの関係の研究してきたが、さらに大学院で研究を続けることにしたとのこと。

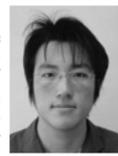
今回はあるフィットネスクラブの日々の売上高や来客数などと同時に気象データ、特に従来の研究では扱っていない日照時間調査データに分散分析を適用することで人間の消費行動との関係を取り入れたファジィ推論モデルの構築を研究。そして、例えば、1日の気温の差があまり無く、日照時間が短いときは、来客数がとも少ないなど、人間の消費行動が、日々の気象の変化に影響を受けていることを示し、気象データから需要が予測できるファジィ推論モデルを構築した。また、回帰分析モデルと比較してファジィ推論モデルの方が精度が高い結果が得られるとの結論を導き出した。

今後はシステム関連の会社で

システムエンジニアとして、開発に取り組み。

経営情報学部経営情報学科 板東穂高(下條善史ゼミ)

「行程提案型電子地図の提案と開発」



街遊びが好きなという板東さん。印刷地図・電子地図の特性と問題点を抽出し、ユーザにとってより便利なものとして「行程提案型電子地図」の仕組みを考えた。店や遊び場所の「行程データ」を地図情報と組み合わせることで、自分に必要な情報だけを地図上に表示させるというもので、情報はユーザから集める。

「もともとの発想はデータコーラスを作ったというかな、ということ。電子地図や街遊びのサイトを見て、単体では役に立たないことが多い。それに毎回自分で考えるより、他のユーザとも情報交換したい。女の子と歩くことを考え、なるべく階段が少ないコース、雨に濡れないルート、とか。」

卒業後は国際大学院に進み実用化に向けて取り組む。

政経学部政経学科 関本 隆(木俣由美ゼミ)

「最近の株主代表訴訟事情」問われる経営者と問いつめる株主の熱戦」



研究のきっかけとなったのは、大和銀行ニューヨーク支店巨額損失事件。世間を騒がすぐらいの重大事件とは、どんなものかと関心を持ったのだと言った。

株主代表訴訟の意義や役割、歴史を研究。93年の商法改正以降、続発する株主代表訴訟について最近の動向等を踏まえ、事件の起こった過程を総合的な観点から考察した。「商法改正や社会情勢の変化などから株主代表訴訟は変わりつつある。株主から企業経営について取締役が追及されるのは、経営に対するあいまいさ」が原因ではないか

会社の良し悪しは経営を行なう取締役と経営状態を是正する監査役の腕にかかっています。すべての取締役が「意識」をしつかり持って、安心できるような企業経営体系を築いてほしい」と述べた。

人間科学部社会コミュニケーション学 五十里亜律子(石井 滋ゼミ)

「親および友人からのサポートと信頼関係が社会的スキルや大学生生活への適応に及ぼす影響」



五十里さんがこのテーマを選んだのは、小学校低学年と2歳のいとこの親子関係と自分の家との違いを感じ、「親子関係の違いによって育ち方や性格が違ってくるのを知りたい」と思ったのがきっかけ。でもそこから、テーマを絞り、仮説を立てるのが一番大変でした。と五十里さん。「ゼミでは、先行研究を図にまとめ、という作業をしました。そこから自分はどこを主に調べたいのかを考え、仮説を立ててテーマを決め、またそれを図にまとめました。たいへんでしたが、いい経験になったと思います。」

先行研究である「親子の信頼関係と学校適応」などに「サポート」や「社会的スキル」との関係も組み合わせた質問紙を作成。本学学生257名に調査を実施し検証した。

国際コミュニケーション学 坂口礼香(山本和子ゼミ)

「意味に関する一考察」はたして辞書の意味はすべての「意味」を表しているのか？」



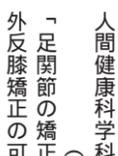
坂口さんは言葉について日頃疑問に思っていたことをソシールの理論を引用し論究、「意味とは」という抽象的なテーマに挑戦し、「意味は辞書の意味だけではなく、人の数以上の意味が存在する」という結論にまとめた。

大学で言語学などを学ぶうちに、ソシールの言葉と意味の関係に興味を持ち始めた。「コミュニケーション能力の大切さがうたわれていますが、意味の取り違いによる誤解も多いと思われ、これから仕事をすすめる上で関わってくる。普段になげ

なく獲得していることだから原理を知らないが、なぜ誤解が生じるのか知っていれば相手に対しても思いやりをもてるのでは、小さなメモを持ち歩き、電車の中などで思いついたら書き留め、論文自体は「一番集中できる場所」というお風呂の中で書き上げた。卒業後はプログラマーの世界へ。「コンピュータは言葉の意味をどう捉えるかというのを考えていく」と新たな世界に意欲的だ。

人間健康科学科 太田久美子(平田まりゼミ)

「足関節の矯正に伴う内反膝・外反膝矯正の可能性」

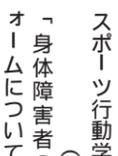


「祖母と母が揃って骨粗鬆症なので、骨の研究は入学当時からやってみたく」という太田さんは、大学ではアスリートタイプのレーナード部に所属。枚方キャンパスの軟式野球部のトレーナーとして活動するうち怪我の治療や形成外科的なことに興味を持ち始めたという。3種の矯正方法を用い、内反膝・外反膝である被験者に装着してデータを集めた。

「効果がなくても不快感や痛みが大きければ実際に使ってもらえない。だから不快感の調査も重視しました。慣れない機械を使つての実験、しかも人間相手なので緊張しました」と太田さん。「ゼミの仲間がいつも研究室に集まらなければいけなかった私もがんばらなければいけなかった。もう仲間と集まらなくなると思つて寂しい」と完成しての感想を述べた。

スポーツ行動学 吉田聡子(湯川静信ゼミ)

「身体障害者のピッチングフォームについて」



吉田さんは肢体不自由の投手(右足は義足)である左投げ投手)のピッチングフォームについて、動作分析に挑戦、まだまだ進んでいない分野である身体障害者スポーツの研究に基礎資料を提示した。「中学から女子の軟式野球チームに所属して、障害者・高齢者・女性それぞれのチームが集まる大会に参加し衝撃を受けたのが動機となりました。特に自分がピッチャーなので、ピッチング

フォームの動作分析は元々興味のあるテーマでした。」と吉田さん。協力者のピッチングフォームをビデオに撮影、スティーックピッチャーで分析を行った。

野球を自らする吉田さんだからこそできた分析、今後の障害者スポーツ研究にとって貴重な一歩となった。

資格取得者(敬称略)

- ◆国際大(枚方)
- TOEIC学内試験 (15年1月25日実施)
- 63人中400点以上は13人。550点以上は次の通り。
- 0点以上 池田 香菜美、林 菜穂子
 - 100点以上 横須裕介、別科1 柳 誠
 - 200点以上 Cheepweasath Prasit、孫 麗
 - 300点以上 池田礼人、中村太士、竹田万亀夫、富田拓史、同3 春尾妙子、奥野裕子、武一、愛、同4 詩本 肇、松木孝仁、村井和志
 - 簿記2級 (14年11月17日実施) 院生 柳 清
 - 同3級 (14年11月17日実施) 院生 加藤維一、西山圭子、野間哲也、同 月、同3 白山伊未、来、院生 柳 清

国際大(守口)・短大部

- TOEIC学内団体試験 (14年11月9日実施)
- 18人中400点以上は7人。
- 秘書技能検定準1級 (14年11月10日実施)
- 大学入健3 門元美咲
 - 同2級 (14年11月10日実施) 大学入健2 渡邊志乃、同 人健2 笹岡智美、同社コミ3 入口 愛、同 朱穂、藤田千咲
 - 短大部家政1 澤田明日香、同2 平田友美、藤本知子、同国文1 小原あり、同 佐々木美香、同 八島久美子、同 小谷優果、同 佐々木紗紗、同 花房佑三、同 瀧尾美登、同 逸見由紀、同 宮崎 泉、同 浅野香織、同 黒沢知寿、同 西村真衣、同 野間寛子、同 吉村祥子、同 中西千晴、同 小林恭子、同 川野孝子、同 谷頭ゆかり
- 日本語能力試験1級 (14年12月1日実施)
- 大学国コミ2 王 成麗、同 黄 海
 - 日本語文書処理技能(日商)検定2級 (14年10月6日実施) 大学入健1 池部通孝、同社コミ3 野村典子、同国コミ3 森 島有子

ピアヘルパー

- (14年12月14日実施)
- 短大部家政19名(日本教育カウンセラー協会認定資格。14年度より新たに導入)
- 訪問介護員2級(15年4月取得)
- 大学入健2 橋爪有香、同3 宮本靖子、同4 奥野三喜子、同 03 卒 小濱玲子
 - 短大部家政2 勝山久美子、同 北荒井愛美、同 高橋真由美、同 谷口ゆかり、同 鳥居明子、同 西野由紀、同 船田倫代、同 本田由紀、同 正岡寿子、同 村山愛、同 山北佳子、同 荒久田恵子、同 03 卒 桑原早起子、同 小松 舞、同 坂本絵美、同 辻 朝子、同 中嶋美智子、同 山下三奈美、同 山田愛子

滝井高校

- 英検2級 (14年11月22日実施)
- 3年 石田 智、清村益美、富岡 香奈
- (15年2月28日実施)
- 2年 川口麻衣、谷村雅子、橋本有加、花谷奈央子、同 智栄美
 - 3年 日置美登里、川口綾子、土井千佳、同 大豆村奈津子

大和田高校

- 英検2級 (14年11月17日実施)
- 2年 上村尚代、樋口 彩、福岡 絵理、同 丸 彩、同 尾形仁彌、同 福山 恭未、同 池島麻衣、同 石田志保、同 石飛 祐子、同 今美恵子、同 植木沙織里、同 宇代瑞穂、同 川崎純子、同 川本由貴子、同 佐藤照子、同 塩見玲奈、同 下田裕基、同 高橋有紀子、同 宝未、同 富田 真以、同 山口史恵、同 橋本 清、同 初田 有加、同 浜田 優、同 樋口友美、同 山田 好恵、同 三宅希望、同 山口智子、同 山田 幸枝、同 山本真未、同 吉富寛子
 - 3年 中村 結、同 林 奈緒、同 井上 直美、同 出来島阿悠
- (15年2月23日実施)
- 2年 佐々木愛、同 中杏奈、同 中西 美穂、同 水嶋美和、同 上田真梨子、同 若 家悦子、同 四之宮由紀、同 那須友陽子、同 中嶋千尋
 - 3年 宮内紗希、同 島野裕子



BOOK

大阪国際大学 法政経学部教授 徳永 恂 著

「20世紀思想の断層」 新耀社 3500円

著者徳永 恂先生は、長年にわたってフランクフルト学派を研究してこられた第一人者である。本書は、先生の三十年間に

フランクフルト 学派の展開

およぶ小論を集大成したものであり、ホルクハイマー、アドルノ、フロム、ベンヤミン、ハバースの精神的軌跡が鳥瞰的に配列されている。注目すべきは、著者の関心や思い入れが、最近「審議的デモクラシー」の理論的旗手として世界的注目を浴び

- ◆新刊
- 国際大・国際大短大部
 - 「新世紀の宗教」聖なるもの」の現代の諸相。経営情報学部教授 三木 英 共著。創元社 1800円
 - 「ベシツクシーニアス 英和辞典」経営情報学部助教授 畠山利一 共著。大修館書店 2700円
 - 「韓国の働く女性たち」短大部家政科教授 油谷純子 共著。東方出版
 - 版 1800円
 - 「現代経営学講座6 企業の戦略」経営情報学部助教授 小橋麗香 共著。八千代出版 2900円
 - 「近代ドイツ資格社会の展開」人間科学部人間健康科学科教授 南直人 共著。名古屋大学出版会 5800円
 - 「アドルノ批判のプリズム」法政経学部教授 徳永 恂 編著。平凡社 2800円
 - 「中国の企業組織と経営管理」国際関係研究所助教授 何 成業 著。青山社 2857円
 - 「変化する旅行ビジネス」短大部国際文化科学科助教授 小林弘二 編著。文理閣出版 1800円
 - ◆「サラリーマンから大学教授になる!方法」(学園エンカレッジセンター) 東田晋三助教授インタビュー掲載) 宝島社新書 750円

ヘッドラインニュース

Table with 3 columns: Date, Location, and News Content. Contains various news items from May 13 to May 31, 2003, covering topics like sports, education, and student activities.

大阪国際女子マラソン 野坂さん 畠中さん完走

沿道の部員応援が励み

「2003大阪国際女子マラソン」(1月26日)に陸上競技部から、野坂絵美さん(スボ行4)、畠中美佳さん(国コミ4)が出場し共に完走を果たした。3年連続の出場として完走、という快挙に2人は「よくできたなあ」と思っています。沿道に散らばった部員の応援が、すこい力になった。ゴールでみんなの姿を見た時は泣きそうにな

マラソン中は、靴ズレで足の裏にいつも水膨れができて、「カーブが痛くて泣きながら走った」ともある(野坂)と言うが、「完走した時の達成感は最高。また走りたい、と思うんです」と口を揃える2人だ。

クラフ活動(敬称略)

- 国際大・女子大・短大 軟式野球部
9/14 日米大学国際大会全日本選抜チーム 杉本勝宏(経情3)
陸上競技部
10/24 国体成年女子走高跳(京都) 6位 児玉里穂(スボ行1)
2/24 大阪シティハーフマラソン 一般女子 完走 野坂絵美(スボ行4)
3/2 篠山ABCマラソン17位 畠中美佳(国コミ4)
少林寺拳法部
11/24 全国大会 一般女子二段の部 優良賞「6位」富岡真子(人健)

チーム選抜選手 山元 瞳▽上村 祐子(以上人健4)▽樋谷 優(スボ行2)▽個人賞 サブ賞 樋谷 優(スボ行2)
12/7 全日本大学女子選手権決勝 トーナメントベスト8
12/28 府学生連盟創立70周年記念上海遠征女子選抜チーム 監督 今川 功 選手 山元 瞳▽上村 祐子▽加藤みほり(以上人健4)
▽赤穂理恵▽小坂恵里▽戸田絵美(以上スボ行3)▽樋谷 優(スボ行2)▽マネージャー 太田梨恵(スボ行4)
テニス部
12/10 全日本学生室内選手権女子ダブルス 仲地祐奈(スボ行3)
バスケットボール部
11/17 関西学生秋季トーナメント大会(2部3位以下) 優勝 ラクロス部
12/25 第13回関西学生1部リーグ5位
滝井高校 バレーボール部
12/19 近畿私立高校選手権 優勝
12/23 全国私立高校男女選手権 ベスト8
1/26 大阪高校新人大会兼全国高校選抜優勝大会 優勝
3/24 全国高校選抜優勝大会(春の高校バレー) ベスト8
吹奏楽部
5/12 プラスエキスポ参加
8/2 府吹奏楽コンクール北地区大会
8/13 咲くやこの花館トワイライトコンサート
9/24 大阪拘置所慰問
9/24 府マーチングフェスティバル 金賞
10/12 守口市防犯パレード
11/24 近畿総合文化祭
12/24 府アンサンブルコンテスト 銀賞、なんばウォーククリスマスパレード
2/9 守口市ハロフェスティバル
3/21 ニューサウンドコンサート
パドミントン部
2/1 大阪高校選手権 ベスト32、ダブルスII部 佐藤麻美子・麻呂祐希組(以上2)
大和高校 ソフトテニス部
1/13 近畿高校選抜インドア大会(兼)全日本高校団体選抜大会 近畿予選 個人賞 宮端佳奈恵▽幸崎由美(以上2) 2回戦敗退
吹奏楽部
12/22 府アンサンブルコンテスト 金賞8重奏 銀賞
11/16 地域別文化祭 第4ブロック音楽祭 出演
剣道部
11/3 個人戦 青木千恵▽坂東康子(以上2) 府新人大会及び近

畿高校大会府予選出場
12/22 全国高校交歓大会 17勝1負
12/16 近畿高校大会 ベスト16
大和中学 バレーボール部
11/17 北河内新人大会 優勝
10/12 大阪中学校秋季総合体育大会
3位
12/28 全国都道府県対抗中学大会 大阪代表選手 三木誠子▽水口亜由美(以上3)
2/16 大阪中学生新人大会 ベスト8
課外活動
国際大・女子大・短大
11/15 平成14年度日本オリンピック委員会強化指定選手認定
長谷川早希(スボ行2)
11/15 平成14年度公式水泳競技会 優秀選手賞 長谷川早希(スボ行2)
11/19 水球女子日本代表クラス候補選手強化合宿参加選手 越田梨愛(スボ行2)
12/24 2002年度シンクロ・全国選抜中央合宿(シニア)参加選手 長谷川早希(スボ行2)
滝井高校
12/25 第一回同志社女子大学「SEITOU百人一首」短歌コンクール賞受賞、英語短歌入選 神野あや(3)
1/25 第46回全国書道展 個人賞 団体賞 府知事賞、個人賞 守口市市長賞 小森千加、守口市議員賞 内田貴和子、審査委員賞 天本真美、全日本書道書道振興協会賞 湖山明日香(以上3)
3/19 第3回文部科学省認定硬筆書写検定試験 優秀賞 松田千絵(2)

盟協議会賞 岡田真衣(2)▽日本書道教育連盟賞 脇田さやか(2)▽全日本青少年書道振興協会賞 土居美由貴(2)▽大阪市PTA協議会賞 守屋厚志(1)
寒風の中、餅つき大会
学友会、枚方キャンパスで学友会主催による餅つき大会が初の冬のイベントとして15年1月16日枚方キャンパス3号館前広場で行われた。
今年の学友会の合言葉である「FOR ALL OIU STUDENT ASSOCIATION MEMBERS」の第四弾企画。今回は寒くなるこの季節に、大学全体が心も体も温かになり皆で楽しめることを目的としており、第一弾ワールドカップ ガンバレ日本!!(日本応援企画)、第二弾かき氷大会、第三弾イルミネーションライトアップセレモニーに続く。
食べるだけでなく写真を撮ったり、飛び入りで餅をつく学生の姿も見られやりに興味津々。つきたてのお餅つてやっぱり美味しい!「幸せ!!」と感嘆の声をあげる学生達。当日は凍てつく寒さにも関わらず大好評で、広場は沢山の人がかりで賑わった。

神野さん英語短歌入選
滝井高、学校賞も受賞
第一回同志社女子大学「SEITOU百人一首」短歌コンクールで神野あやさん(滝井高校3年B)の英語短歌が入選した。
オールコミュニケーションの授業の成果を応募、国内外の高校生から集まった総数8420首の中から100首に選ばれた。
入選作は
「Summer at midnight. The festival of star dust. Stars are twinkling.
I will swear by the Pole Star That I believe in myself.」
また、滝井高校は、英語短歌36名(3年)の他、日本語の短歌も14名(1年)が応募し、同コンクールの学校賞も受賞した。



英語で書かれた短歌の賞状を手にした神野さん

大和中学・高校 書道受講者及び書道部
9/28 全国硬筆展覧会 学校賞 準優勝(3) 書道栄誉賞 田中千晴(3) 日本書道教育連盟賞 小林佳穂理(3)▽村上 結(1) 府PTA協議会賞 尾崎千幸(2) 日本書道芸術賞 尾崎千幸(2) PTA協議会賞 安藤星子(3) 全日本青少年書道振興協会賞 岡田亜弓(2)
1/25 全国書道展 学校賞 高校の部 大阪商工会議所会頭賞 中学の部 府教育委員会賞、個人賞 高校の部 文部科学大臣賞 田中千晴(3) 守口市市長賞 西分理給(3) 府PTA協議会賞 小林佳穂理(3) 全日本書道振興協会賞 勝田周子(2) 日本書道芸術連盟協議会賞 藤澤美紀(2) 全日本青少年書道振興協会賞 村上 結(1) 中学の部 府議会賞 吉田みなみ(2) 守口市議会賞 前田祐貴(1) 日本書道芸術連

14年度 厳しかった就職状況

求人件数はかなり高い

企業の目シビア 真剣に挑戦を

平成14年度卒業生の就職活動をふりかえって
平成14年度卒業生の就職活動は、極めて厳しい状況となった。新聞紙上では大学生の就職状況は昨年度を若干上回ったとの記事もあるが、近畿圏については厳しい雇用情勢を反映して新卒の就職状況は厳しい結果となっている。

就職活動は困難を極めたようである。就職状況が厳しい結果に終わったのは、数年前から続いている厳選採用の影響であろう。企業の採用論理は「優秀な人がいけば、採用する。そうでなければ無理はない」というものである。これに加えて、最近の景気の先行き不透明感が企業マインドを一層萎縮させているものと思える。しかし、すべて

の企業が採用をストップさせているわけではない。いかなる時代でも企業は、常に将来のために優秀な人材を確保しようとするものである。
変革を求められる時代において、企業の学生を見る目は非常にシビアになっている。学生のみなさんには生半可な気持ちではなく真剣に将来のことを考え、就職活動に臨んでいただきたい。このことによって、自ずと道は開かれるはずである。

大阪国際大学 就職部課長 中山貴嗣

就職活動の土台 自己発見の努力を

何ができるか、壁を越えよう

就職活動の課題とされている「自分がしたいことを探す」ことが学生にとって難題であるのは今に始まったことではない。しかし、自分が何をしたいのか、また、何に向いているのかかわらない」という理由で就職活動しない学生が大勢いるのは、大

変気になるところである。因みに、進路・就職部で実施している中間進路状況調査(昨年11月)では、就職を希望しながら、就職活動しない理由として「自分が何をしたいのか、また、何に向いているのかかわらない」を挙げた学生が、大学・短大ともに前年に比べて減少したものの数があまりに多い。

進路決定する場合、特に就職においては自分の希望や適性を考え悩むのは当然である。ただ、問題はそこからである。いつまで経っても「何をしたいのか、何に向いているのか」という壁の前で立ちすくみ、最初の一歩が出なければ就職活動は完了しない。一方、自己分析、職種研究、業界・業種研究の後、つまり、自分を見つめ直し、仕事や会社のことを調べた上での就職活動であれば、悩みの克服も可

大阪国際大学 就職部課長 定國通雄

就職奮戦アドバイス

説明会場で明確に質問、熱い思いは届くはず

積水化学工業



大阪国際大学 経営情報学部 経営情報学科 '03年卒 和田泰彰

私の就職活動は、大学3回生の12月頃からスタートしました。

まず、インターネットの就職サイトに登録し、知っている会社に手当たり次第にエントリーするところから始めました。当時は自分がどんな仕事をしたいか分からなかったが、全ての職種を見てやろうという思いでした。
そして、2月初めから少しずつ会社説明会の予定が入り始めました。最初の会社説明会では完全に緊張してしまい、最後まで

で周りの雰囲気や圧力を感じられなかった。それから私は緊張に打ち勝つ為、説明会では必ずみんなの前で質問するように努めました。その方が人事の人に顔を覚えられ有利に事が運ぶだろうと考えたからです。
2月半ばから3月初めになると、次第に面接が増え始め、月曜から金曜、朝から夕方まで、1日2社3社と会社訪問をしました。毎日朝から晩まで会社訪問をしても苦にならないことができたや、人と接することが好きな

自分に気づき営業職に限定して会社を探そうと決めました。
積水化学工業株式会社と出会った時には既に内定している会社があったのですが、説明会に参加してみても言葉にできない直感みたいなものがあり、受験を決意しました。私がこの会社を決めた理由は、自分のことを一番分かっていてくれた会社だったからです。
就職活動が進むにつれ面接も数多く経験し、面接慣れしてきました。その時に注意して欲しい

役に立つ面接訓練
自分の長所プラスを
コナミススポーツ株式会社
コナミススポーツ
クラブ光明池
'03年卒業
人間科学部
人間健康科学科
新井美晴

コンビニ店長、「経験」から学ぶ経営

ファミリーマートを開業して、この5月で丸5年が経過します。コンビニエンスストアの経営は、1つ100円・200円の商品を販売し、その積み重ねが利益となる商売です。利益を上げる為には、一日の来店客数を増やし、お客様一人当たりの単価を上げることが重要となります。

そのためには、自店の立地・客層・季節・流行などの環境を踏まえた上で、品揃え・サービス・店舗管理など、店作りをするために様々な決定を行っていかねばなりません。同じ名前をもつコンビニエンスストアでも、それぞれの店によって、内容は大きく変わってくるのです。

その決定を行う上で「情報」や「知識」も確かに重要なのですが、もっとも重要なものの1つとして「経験」をあげます。

学生からすぐに経営者になった自分にとって、はじめての客商売は、マニュアルだけで対応しきれものではなく、最初はなにをするにも試行錯誤の連続でした。しかし自分自身で考え、行動して、その結果を積み重ねることによって、「経験」は確実に自分のものとなります。また「経験」は、仕事を行っていく上での「自信」へとつながるものになります。

学ぶべきことはまだまだ多くありますが、これからがんばっていききたいと思います。



大阪国際大学経営情報学部経営情報学科 '01年卒
ファミリーマート
東三国三丁目店 店長
今中 高俊

OB・OGレポート

座右の銘は「行雲流水」

テストと言えば「一夜漬け」...これといった目標もなく「行ける所が進路」とばかりに、あまり焦らず悩まず過ごしてきた私。今春4回生の学生は今、就職活動の真最中?苦悩の連続で焦燥していることと思います。超氷河期と言われた頃、私もマイペースで活動していましたが、この時ほど「自分は何をしたいのか」を考えたことはありませんでした。

様々な業種の会社説明会に参加したものの、明確には何がしたいのか決まらなかった。しかし「生きていく上で役に立つ知識を取得できる仕事」をしたいと考えようになりました。最終的に不動産業か金融業のどちらにするかを迷いましたが、これまでの3年間を振り返れば今の不動産会社を選んで良かったと思います。

TV(毎日放送「せやねん」)に出演して、吉本興業のかつみ・さゆり夫妻と会話したり...工事現場でクレーンのゴンドラに乗せてもらって35m(マンション10F相当)の景観を眺めたり...作業用エレベーターで建設中のマンション屋上へ行ったり...と、あまり経験できないことを体験できるのは楽しいことです。

今までに得た知識や経験は、かけがえのない財産となって私の笑顔や自信を形成しているはず。もちろん辛苦も多々...「宅地建物取引主任者資格」の取得は避けては通れない関門で、さすがに「一夜漬け」ではクリアできず、しんどい思いもしました。しかしどんなことでも、きつと今の私のように思い返せる日が来るものだと思います。楽しんで生きましょう!



大阪国際女子大学人間科学部人間健康科学科 '00年卒
阪急不動産(株)営業推進部マンション販売担当
「シオ緑地公園」OB・OG「積水化学工業」マンショングラッパリー所長
長野 友華

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学 (枚方キャンパス)

- 7.18 前期終講
- 7.22 補講(～28)
- 7.26 オープンキャンパス(8.20、9.23)
- 7.29 前期試験(～8.6)
- 9.3 追・再試験(～5)
- 9.8 集中講義(～19)
- 9.22 後期開講
- 10.11 大学祭(～12)

大阪国際大学 大阪国際女子大学 大阪国際大学短期大学部 (守口キャンパス)

- 7.18 前期終講
- 7.21 オープンキャンパス(8.7、23、9.7)
- 7.22 補講(～28)
- 7.29 前期試験(～8.6)
- 9.3 追・再試験(～5)
- 9.8 集中講義(～19)
- 9.22 後期開講
- 10.25 大学祭(～26)

大阪国際滝井高等学校

- 6.10 中間考査(～13)
- 6.24 保護者会(～27)
- 7.5 コーラス大会
- 7.10 修学旅行(オーストラリア)(～16)
- 7.11 修学旅行(カナダ)(～8.1)(北海道)(～16)
- 7.16 期末考査(～17)
- 7.19 授業終了式
- 8.25 授業再開
- 9.16 期末考査(～20)
- 9.30 終業式
- 10.3 指名保護者会(～4)
- 10.4 オープンキャンパス
- 10.8 始業式
- 10.19 入試説明会(11.23)
- 10.25 文化祭(～26)
- 10.30 体育大会
- 11.5 プレ中間考査(～6)
- 11.14 遠足(1・2年)
- 一泊英語研修(～15)(2年国際科)
- 11.15 オープンキャンパス

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 6.2 教育実習(～13)(高校)
- 6.5 人権研修(11.6)(高校)
- 6.7 体育祭
- 6.18 保護者会(～21)(高校)
- 授業参観(中学)
- 6.26 人権研修(中学)
- 7.1 期末考査(～5)(高校2年国際、教養)
- 7.8 期末考査(～14)(高校1年、2年英数、3年)
- 期末考査(～10)(中学)
- 7.10 修学旅行(高校2年国際、教養)
- 7.14 林間(～15)(中学1、2年)
- 7.16 夏期講習開始(高校)
- 7.17 宿泊研修(～19)(高校1年教養)
- 7.22 家庭訪問(中学)
- 7.31 終業式
- 8.19 学外講習(～22)(高校3年)
- 8.21 学習合宿(～23)(高校1年、中学3年)
- 8.26 始業式
- 8.29 芸術鑑賞
- 9.21 文化祭(中学)
- 9.22 コーラス大会(高校)
- 9.28 文化祭(高校)
- 9.30 実力テスト(中学)
- 10.2 合同集会
- 10.4 オープンスクール(高校)
- 10.10 授業参観(中学)
- 10.11 オープンスクール(中学)
- 10.22 中間考査(～25)(高校)
- 10.23 中間考査(～25)(中学)
- 10.29 避難訓練
- 11.1 入試説明会(中学)
- 11.7 遠足(中学)
- 11.8 入試説明会(高校)
- 11.13 保護者会(～17)(高校)
- 保護者会(～15)(中学)
- 11.23 入試説明会(中学・高校)

大阪国際大和田幼稚園

- 5.30 避難訓練
- 6.6 親子遠足
- 6.21 音楽発表会
- 6.24 水遊び開始
- 7.14 個人懇談会(～16)
- 7.19 終業式
- 7.22 夏期保育(～24)
- 8.26 夏期保育(～28)
- 9.1 始業式、入園願書配布
- 9.18 入園説明会
- 9.20 避難訓練
- 10.1 入園受付
- 10.11 運動会
- 10.24 いもほり(園外)
- 11.17 幼稚園交流
- 11.30 作品展

自分らしく話せば気持ちよく伝わるのだと実感しました。
私は就職活動をしていくにつれて、今まで気づくことのなかった自分に出会うことができました。これは私が社会に出ていくうえで強みにし、活かしていけるものだと思います。私にとって就職活動は苦しい辛いことだけではなく、新しい自分を発見することができるよいものであったと思います。

2367名が入学宣誓式に

全国各地から春のたよりのが届くなか、学園設置の各校で入学(宣誓)式が次々と行われた。今年度は合わせて2367名が入学し、学園に新しい息吹を吹き込んだ。新入生たちはそれぞれ難関を突破した喜びと新たな希望に満ちあふれた面持ちで式に臨んだ。

「大きな志をもって」金子学長

国際大枚方キャンパスでは4月3日、野外ステージで恒例の米国カレッジ式典スタイルの青空入学宣誓式を行った。迎えた新入生は経営情報学部330名、同学部編入学4名、法政経学部256名、大学院経営情報学修士課程13名、同博士課程1名、総合社会科学部修士課程6名、留学生別科92名の計702名。金子学長は式辞で「大いに学び、遊び、大きな志を持った大きな夢を見つけて欲しい。そのために広く日本と世界の動きを学んで下さい」と語り、入学生代表宣誓は経営情報学部部長尾幸祐さん、法政経学部部長長谷川悠自さんが行った。式後、新入生には学友会主催の歓迎会、保護者には懇談会を実施した。守口キャンパスでは人間科学部(国際大・女子大)の入学式が4月4日、奥田モリアルホールで行われ、人間科学部心理コミュニケーション学科学科165名、国際コミュニケーション学科学科144名、人間健康科学科学科150名、スポーツ行動学科学科121名、留学生別科生52名、女子大編入学学生23名の計655名の学生が晴れの日に迎えた。新入生代表は人間健康科学科の大橋佳菜さん。



「主体性を自覚して」奥田短大部長

幼児教育科192名(保育コース32名)、音楽コース29名、体育コース32名、国際文化化学科183名(国際ビジネスコース22名)、情報ビジネスコース57名、英語コミュニケーションコース41名、観光ビジネスコース63名の計517名を迎えた。奥田吾朗短大部長は「主体性をもって与えられたこと以上に何かを作り出せるような人間になって欲しい。その舞台としてこの大学生活を活用して下さい」と挨拶。新入生を代表し、短大政科の越岡枝里さんが入学できた喜びを込めて宣誓した。同キャンパスではこれまでのスライド仕様にかわり、学園紹介ビデオ「探し物はなんですか」に入学時をはじめ保護者懇談会が実施されたが悪悪天候にも関わらず、多くの参加者にもみまわれた。

吾朗校長より「校長としてはじめての挨拶で皆さんとともに緊張していただきます。自分という美しい花をこれから咲かせて下さい。3年後の卒業式で個性豊かな花となっていることを願います」とスラブの「世界でひとつだけの花」のフレーズを用いて激励。新入生を代表して橋本宏美さんが「今日の感激を忘れずこれからの学生生活をすこやかに過ごしたいと思っております」と誓った。

「希望を胸に」

大和田中・高校は4月7日奥田モリアルホールで行われ、中学は国際コース28名、英語コース33名(うち男子11名)の計61名、高校は国際教養コース109名、英語コース93名(うち男子15名)の計202名が入学した。奥田三郎校長は「教員は皆さんに「表現力」「考える力」「共に生きる力」など自立のための基礎教養を徹底指導する希望を持ってぶつかってほしい。希望の進路に進み、多くの友人と共に満足して卒業を迎えられることを願っています」とエールを送った。新入生宣誓は高校は男子2期生となる渡邊亮太さん、中学は松波 茜さんが行った。

大和田幼稚園では、4月7日入園式が園内のホールで行われ3才児68名、4才児13名、5才児1名の計82名の新しい園児を迎えた。

モンゴル西部でチンギス・ハンの兵站基地、チンカイ・バルガス(城市)跡を発見

「長春真人西遊記」記録と景観台致、磁器片や土城跡も
松田孝一国際大教授ら合同調査隊
松田孝一国際大教授を代表とする日本モンゴル歴史・考古調査隊(白石典之・新潟大学助教授、村岡 倫・龍谷大学助教授、松川 節・大谷大文学講師)は、モンゴル科学アカデミー歴史研究所前所長A. オチル氏との合同調査で、これまで場所を特定できなかったチンギス・ハン時代の兵站基地、チンカイ・バルガスを発見した。本学での合同記者会見でこれを発表。マスコミの関心も呼んで各紙で掲載され、大きな話題となった。

「個性豊かな花を」

滝井高校は4月8日体育館で行われ、吹奏楽部の歓迎演奏をうけながら迎えられた。新入生148名(普通科132名、国際科16名)が晴れて入学した。今年度より就任した奥田

フレッシュマンキャンプ、学外オリエン大成果



国際大枚方キャンパスの恒例・新入生フレッシュマンキャンプが4月11日から12日まで行われた。経営情報学部は滋賀県の長浜市で1泊2日、また法政経学部は兵庫県の淡路島へ1泊2日、両学部ともに「スポーツ大会」や「世界のクイズ」など内容はゼミ対抗のものとなっており、相互の親睦を深めた。また、担当の教員を中心にこれからの大学生活について語りあがもたれ、天候には恵まれなかったが所期の目的を果たし多岐な成果を上げ得た。

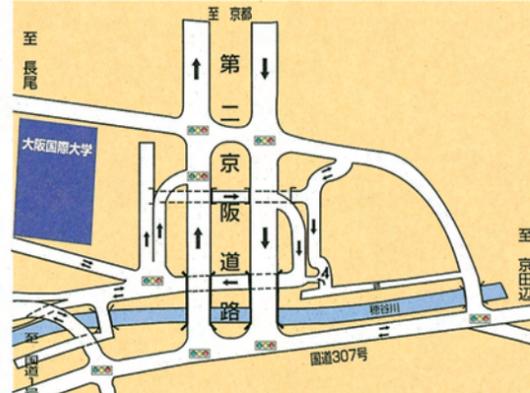
守口キャンパスの新入生学外オリエンテーションは4月8日、9日、例年通り学科別に1泊2日で行われ、学科の概要やゼミ単位での説明



や親睦会などで学生間や教員との交流を深め、打ち解けた雰囲気の中、今後の学生生活の進め方などについて情報交換を行った。場所は以下の通り：人間科学部心理コミュニケーション学科学科 リーガロイヤルホテル大阪、大阪国際会議場国際コミュニケーション学科学科 大津プリンスホテル人間健康科学科 琵琶湖ホテルワスポート行動学科学科 守口ロイヤルパインズホテル、大学、守口市体育館
短大マ家政科 神戸ベイシセラトンホテル幼児教育科 大津プリンスホテル国際文化科学科 京都宝ヶ池プリンスホテル

第2京阪道路完成(3/30)で本学(枚方キャンパス)へのアクセス向上

関連の枚方藤阪線・枚方東部線も開通



大阪・京都間の交通渋滞緩和のための計画された国道1号のバイパス第2京阪道路(愛称「緑立つ道」)の一部が、この3月末開通した。開通区間は4、6車線

の自動車専用道路と307号のバイパスとして、2、4車線の枚方藤阪線と枚方東部線が開通(3月24日)した。これらによって、本学の車によるアクセスは二段と便利になった。専用道路が開通したものの、併行する一般道は部分開通のため、京都方面からは八幡市の洞峠から山手幹線に入り、長尾駅手前山手西で第2京阪道路の一般道を利用、枚方高槻線(大学前の道路)の信号機で右折することになる。また、大阪方面からは、国道1号の枚方市出屋敷西より第2京阪道路案内の標識に従い枚方藤阪線に入り、終点で第2京阪道路一般道を北上、枚方高槻線を左折することになる。あるいは従来通り307号から第2京阪道路一般道を左折。いずれの場合も本学南側が道路に接しているため、見通しはよくスムーズにアクセスできるようになった。

ひと 初の女性学友会会長誕生(枚方) 三峰裕紀さん (国際大経営情報学部3年次生) スタッフも女子学生中心

生活をサポートしていきたい」と抱負を語り語る三峰さん。「でも、中学、高校と学級委員はやってきたことであって、もともと男子のお手伝い。議長なんてやったことないし、まわりに突っ込まれればなし。早く言い返せるようになりたい」と笑う。「楽しそうなことなんでもやってみよう。学友会は、会社の練習ばい。自分たちで予算を振り分けて、会議をしたりものを作ったり。いっぱい失敗して成長する場だと思ってます」と物おじしない。エフエムひらかたの国際大深夜番組のDJとしてもお馴染み。周囲からは「天然」と太鼓判を押される。周りから「最近では相づちだけじゃなく、自分から話題をふれるようになってきたんですよ」と自分自身の「成長」を楽しんでいる。



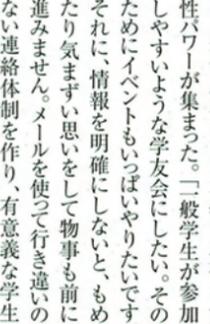
開学以来15年間、男子学生が務めてきた枚方キャンパスの学友会会長だが、今年度初めて女性会長が誕生した。「もしもソフトな学友会を」と立候補し圧倒的支持を得て当選した。経営情報学部3年次生の三峰裕紀さん。また、本部事務局スタッフも7人中6人が女性で、副会長も女性と、男子比率の高い本学で異例の女性パワーが集まった。二般学生が参加しやすいような学友会にしたい。そのためイベントもいろいろあります。それに、情報を明確にしないと、もめたり気まずい思いをして物事も前に進みません。メールを使って行き違のない連絡体制を作り、有意義な学生

'04年度大学・短大PRモデル撮影開始



04年度入試向けの大学・短大のPRモデルが決まり、キャンパス内で撮影が始まっている。男子は経営情報学部3年次生の家田那由他さん、女子は人間科学部スポーツ行動学科学科4年次生の白倉香理さん。電車で吊りボススターやチャリなど、大学・短大の「顔」として登場することに。

本紙に記載の学年、肩書き等はすべて当時のものです。ご了承下さい。住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は広報室までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。



本紙に記載の学年、肩書き等はすべて当時のものです。ご了承下さい。住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は広報室までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。